



# 学校だより

第397号

横浜市立みたけ台中学校

1月号

令和2年1月10日

YY-NET 公式サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mitakedai/>

挨拶・感謝・思いやり「共に生きる」心を大切に！

校長 濱本 貴康

「幾霜に 心ばせをの 松飾」 松尾芭蕉

～幾たびとなく霜にあたっても気概堅固に緑の色を変えぬ松。これを庵の松飾りとして、自分もその気概に習ってきびしくこの年を送りたい～という意味だそうです。

2020 オリンピック・パラリンピックイヤー、令和2年を迎えました。今年のお正月は、天候にも恵まれ、穏やかな新春となりました。年の初めにあたり、保護者・地域の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。本年も、みたけ台中学校の生徒が健やかに成長できますように、教職員一同、教育活動の成果と課題を振り返り、今後も取り組んで参りたいと思います。

今年のはじめての全校集会（1月7日）で、次のことを生徒に伝えました。

皆さんは、「2020年の目標」新年の決意、何を誓ったのでしょうか。冬休みを迎える前に、皆さんに伝えたように、節目を大事にすることは重要です。新年の決意を大切にスタートを切ってください。

今年もお正月の風物詩「箱根駅伝」がありました。駅伝は、チーム組織が一丸となって、襷をつなごうとする。今年もいろいろなドラマがありました。体調が急変し、それでも必死に走る選手が、チームメートの汗が染み込んだ襷を何度もさわり、力をもらいながら前に前に進んでいく姿。辛そうに走っていた選手が、沿道の声援で、もう一度頑張っついていくことができた姿。人は人に応援されると目に見えない力を発揮することができること。夢に向かう中でも、無我夢中であっても、周囲を気遣うことがより絆となり、感動・共感できるのだと改めて感じました。

1月7日は「七草がゆ」を食べる習慣があります。今年、一年の無病息災を願い、また、正月で疲れた胃腸を休める。青汁が不足する冬場の栄養補給をする先人の知恵です。これは、人の長い歴史の中で、培った豊かな生活の知恵のあらわれではないかと思います。時代とともに、生活習慣は変わりますが、人と人との関わり、人と共に生きていくことは変わりありません。共に力を合わせ、地域を支え、支えられながら、人とのつながりを大切にしましょう。

3年生は進路決定まであと一息です。万全な体調で臨んでください。その間、義務教育最後として、真の友を見つけてください。中学校時代に、知り合った仲間は生涯の友になります。2年生、1年生は、今年度のまとめの時期をしっかりと過ごして、次年度につなげてください。勉強や運動はもちろんですが、行事や学年、学級での活動を通して、学校教育目標「めざします！いきいきと楽しく笑顔あふれる学舎を！」を実現し、AKO「挨拶・感謝・思いやり」を持って「共に生きる」ということを考えていきたいものです。

新しい年を迎え、皆さんが更に自分自身の向上に努め、充実した日々が送れることを期待しています。

保護者、地域の皆様、みたけ台中学校では、生徒一人ひとりが学力や体力などに自分自身の力を高め、仲間との絆を学び、ルールや思いやりを尊重しながら、社会を生き抜く力を身に付けるために、今後も様々な取組を行って参ります。本年も昨年と同様、様々な場面で、ご支援・ご協力をよろしくお願いします。

# ふるさとマラソン

12月1日(日)第7回ふるさとマラソン(中里北部  
連合町内会主催)が開催されました。

本校からは陸上競技・野球部員、有志生徒が参加し、  
中学男子の部で1位小野太郎さん、3位飯沼諄さん、  
中学女子の部で3位佐藤夕凧さんが入賞しました。



# 赤い羽根共同募金

12月4・6日の2日間、赤い羽根共同募金を行いました。  
総額7,708円でした。社会福祉協議会を通じて社会に役立てて  
いただくことになっております。ご協力ありがとうございました。

# クリスマスコンサート

12月8日(日)、コミュニティハウスにおいてクリスマス  
コンサートが行われました。吹奏楽部が第1部で演奏しました。  
吹奏楽での演奏に加え、ハンドベルでクリスマスソングの演奏  
をしました。地域の皆さんにあたたかい拍手をいただきました。



# 1年しめ縄づくり体験

12月16日(月)地域の方々により、恒例のしめ縄づくりが行われました。  
器用に藁を三つ編みする子、個性的な飾りを作る子、などいろいろでしたが、それぞれのお飾りを大切そう  
に持っていた姿が印象的でした。地域の皆様、ご指導ありがとうございました。

<生徒の感想>

○今までしめ縄と聞いたらお正月のおかざりとしか思えていなかったけど、しめ縄とは何なのか、何でしめ  
縄をつけるのかという理由が分かったし、それを自分で作る事によって、より奥が深くなりました。それに、  
なぜ、きんかんや稲穂をつけるのだろうと疑問に思った事があったので、家に帰ってから調べようと思いま  
した。(1組)

○難しいと思ったけれど、地域の方々がいねいに教えてくれたので、自分的にとても満足する作品ができ  
ました。自然のものを使うことで、他の生き物の命をもらって生きていけることのありがたみを感じること  
ができます。本当にきれいで、大切に飾りたいなと思いました。とても楽しかったです。きれいなものをつ  
くれた達成感とわくわく感があって、ずっと続けたいなと思いました。(2組)

○初めてしめ縄を作り、最初はとまどいや不安もありましたが、講師の方々がいねいに教えてくださり、  
楽しかったです。私は不器用ですが、それを感じさせない美しいものが出来ました。堂々と玄関にかざれま  
す!! 一生の思い出になりました。本当に今日はありがとうございました。(3組)



## 2年福祉体験学習

2年生は、車椅子バスケットボールの選手に来ていただき、講演・デモンストレーション・生徒による体験を行いました。ひとりひとりが車椅子の動かし方を教わり、

実際に動かしたり、代表生徒による試合を行いました。

○私は車いすにのってみて、まっすぐ進むのも難しくこれでどうやってバスケットをやるのだろうと、とても不思議に思いましたが、実際の試合を見てからは初心者で運動が苦手な自分でもやってみたいなと思えるようになりました。これからは、何事もあきらめず、チャレンジをたくさんしていきたいです。(1組)

○選手の皆様やマネージャーの方々のお話はとても心に響き、何か刺激されるものがありました。今日、感じたものを生かせるように、勉強やスポーツ、学級活動に一生懸命取り組みます。2020年の東京大会で、オリンピックだけでなく、パラリンピックの様々な種目を見たいです。(2組)

○私は、車いすにはじめて乗ったのですが、真っすぐ前やうしろに進むことだけでもとてもむずかしくてびっくりしたし、右手と左手の力が少しでも違うとまっすぐに進むことが出来なかったことが分かりました。また、試合は思った以上に激しいし、ゴールが決まったときの盛り上がりなど、見ているだけでとても楽しむことができました。2020年のパラリンピックでも色々な競技を見てみたいと思いました。



## 保健指導（1・2年未成年者飲酒・喫煙防止、3年薬物乱用防止）

12月20日(金)に薬剤師の永田浩美様をお迎えし、保健指導を行いました。未成年者が喫煙や飲酒をすることの害や、カフェインを多く含む飲み物の功罪等について、薬物の使用がなぜ1回でもしてはいけないかなどについて講義していただきました。



○飲酒喫煙がすごく恐ろしく怖いことだと思った。また、カフェインも、いろんな飲み物に入っていることを知って、カフェインが入った飲み物を飲む時は、確認してから飲みたいと思いました。また、心のケアを心がけることがやっぱり一番大切なのかなと思いました。(1年)

○喫煙や飲酒は体に対して良いことではないことを知っていましたが、どれくらいの量が危険なのかや、詳しい病気のリスクの内容などは知らなかったなので、未来のためにも良い体験になりました。また、カフェインの危険性については、全く知らなかったなので、カフェインに限らず食べ物や飲み物の表示はしっかりと確認するべきだと思いました。(2年)

○薬物などは、自分には関係ないと思っていましたが、今日のお話を聞いて、自分の身近な所にもあることを知り、気をつけようと思いました。また、もし、薬物に誘われた時にハッキリと断る強い意志を持とうと思います。また、自分自身を大切にしていこうと思いました。(3年)